

令和2年9月11日

保護者の皆様

上越市立飯小学校

校長 田邊 道行

## 前期 児童・保護者アンケートの結果報告

当校では、教育目標「自ら学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子」の実現に向け、家庭や地域との連携による取組を進めております。教育目標の実現に向けて、「学びづくり」「心づくり」「健康・体力づくり」の3つの視点から重点目標を設定し、教育活動に取り組んでおります。1学期の取組を振り返り、2学期以降に生かすため「前期保護者アンケート」を実施しました。ご協力いただきましてありがとうございました。これらの資料を学校職員で検討し、成果と課題をまとめましたので、ご報告いたします。

今後とも飯小学校の教育活動に、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 【学びづくり】 聴き合い、思考する子

- 「おもしろそう」「なぜだろう」「がんばろう」という気持ちで授業に取り組む子
- 友達の話を考えながら聞いて、自分の考えを話したり書いたりする子
- 授業で友達の考えを聞いて分からなかったことが分かったり、自分の考えを聞いてもらってうれしいと感じたりする。



\*肯定的評価の割合 (%) 上段：児童 下段：保護者

質 問		R1 前期	R1 後期	R2 前期
1	「なぜだろう」「もっと知りたい」「がんばろう」という気持ちをもって、最後までねばり強く学習に取り組んでいる。	90	91	93
	お子さんは、やる気をもって学習に取り組んでいますか。			81
2	自分の考えとくらべたり、さらに考えたりしながら、友達や先生の話の話を聞いている。	87	86	93
	お子さんは、おうちの方の話をしっかり聞いていますか。	72	76	76
3	自分の考えや思っていることを、理由を明確にして話したり書いたりしている。	81	86	83
	お子さんは、自分の思っていることや考えていることを、進んで話すことができますか。	83	86	81
4	学校の授業で「できた」「わかった」と思うことがある。			96
	お子さんは、学校でできたことや分かったことについて話しますか。	81	83	85
5	家でしっかりと宿題や自主学習、読書に取り組んでいる。	84	85	88
	お子さんは、宿題や家庭学習に進んで取り組んでいますか。	59	59	74



### <成果>

- ・最後まで粘り強く学習に取り組んでいる児童の割合が90%を超えました。臨時休業や分散登校の影響等から、これまで以上に児童が興味・関心をもって学習に取り組めるような工夫をしたり、学習内容に軽重を付けて指導したりしたことが、成果を上げた理由と考えられます。今後も児童の実態に合わせて授業の進め方や課題等を工夫することで、学習に対するさらなる意欲を引き出すことができるように努めていきます。
- ・授業で「できた」「分かった」と思うことがある児童の割合が90%を超えました。1時間の授業の中で児童が自分の学びや成長を実感できるような授業展開の工夫や声掛けが成果を上げてきています。また、生活科や総合、特別活動において、自分の思いや考えを文章で表現することを継続していることも、よい影響を与えています。

### <課題>

- ・話をしっかり聞くことや家庭学習への取組の評価に、児童と保護者の間で認識の差が見られました。「しっかり聞く」ことは学習活動の基本でもあります。今後も、教科の学習だけでなく、いろいろな活動で仲間や教職員の話をしっかり聞くことへの意識を高めていきたいと思えます。また、家庭学習については、学校からの課題に確実に取り組むことに重点を置いて指導を継続します。家庭での学習習慣を身に付けられるように、必要に応じて保護者の皆様とも連絡を取りながら進めていきます。

## 【心づくり】 認め合い、感謝する子

- 自分や友達の違いを認め合い、楽しく学校生活を送る子
- 友達と力を合わせて活動し、他者に感謝しようとする子
- 誰もが気持ちよく生活するために、学校のきまりや交通ルールを守ろうとする子

\*肯定的評価の割合 (%) 上段：児童 下段：保護者

質 問		R1 前期	R1 後期	R2 前期
6	学校が楽しい。	89	90	91
	お子さんは、楽しく学校生活を送っていますか。	93	95	95
7	「ありがとう」「すごいね」などのあたたかい言葉を使っている。	90	93	95
	お子さんは、感謝の言葉を伝えたり、思いやりのある言動をとったりしていますか。	83	84	87
8	自分のよいところやとくいなことを言える。	94	96	82
	お子さんは、自分の長所や得意なことを言えますか。			71
9	学級や学年、かがやき班の友達と協力して活動している。	94	94	95
	お子さんは、友達と仲良くしていますか。	96	95	97
10	進んであいさつしている。	85	83	82
	お子さんは、進んであいさつをしていますか。	64	66	66
11	学校のきまりや交通ルールを守っている。	92	94	92
	お子さんは、学校のきまりや交通ルールなどを守っていますか。	91	90	91

### <成果>

- ・臨時休業や分散登校などがあり、児童や保護者の皆様にとって不安な状況があったことが想定できますが、そのような中でも「6. 学校が楽しい」と感じる割合が90%を超えたことは、大きな成果でした。
- ・「ありがとう」という感謝の言葉を伝えている実態が見られます。それを家庭や地域など、様々な場面に広げていくとよいと考えます。
- ・「9. 学級や学年、かがやき班の友達と協力して活動している」95%、保護者も「友達と仲良くしている」97%と高い値であり、人間関係が安定していることがうかがえました。また、友達との関わりに満足感があるため、「学校が楽しい」と感じることもつながっています。
- ・学校生活やかがやき班活動において、6年生が全校児童のよいモデルとなっています。「きまりを守る」という点については、6年生の姿が全校児童に影響を与え、学校全体がよい雰囲気になってきています。

### <課題>

- ・「10. 進んであいさつをしている」は、児童82%保護者66%と低い値でした。全校の実態から見ても、進んであいさつができる児童が限られています。
  - ➡2学期以降、様々な「あいさつ運動」を行うことで、あいさつに対する意識の向上を図っていきます。
    - ☆あいさつにかかわる全校SST（教師による動画作成）、登校班やかがやき班による振り返り
    - ☆かがやき委員会による「あいさつ運動」、自主的な「あいさつリーダー」の募集（全校で）等
- ・「8. 自分のよいところや得意なことを言える」は、昨年度より低い値でした。昨年度の項目が「好きなことや得意なことがある」だったこともありますが、「言える」までには、より一層の手立てを講じる必要があります。
  - ➡互いのよさを認め合う活動を意図的に設定していきます。特に、研究テーマにもある「自己有用感を高め、共感的な人間関係を築こうとする態度の育成」を目指しながら、特別活動を通して一人一人が自分のよさを実感できるよう、各学年で工夫して取り組みます。

## 【健康・体力づくり】 励まし合い、努力する子

- メディアの約束を守り、生活習慣や健康・安全に関心をもって実践する子
- できるようになったことを認め合いながら、運動の楽しさや喜びを実感する子
- 進んで体を動かし、多様な運動に取り組む子



\*肯定的評価の割合 (%) 上段：児童 下段：保護者

質 問		R1 前期	R1 後期	R2 前期
1 2	早ね早起きを心がけている。	77	74	72
	お子さんは、早寝早起きを心がけていますか。	75	70	68
1 3	うがい、手洗い、マスクを意識して生活している。			96
	お子さんは、感染症予防を意識した生活をしていますか。			89
1 4	家でメディア（テレビ、ゲーム等）のやくそくを守っている。	80	82	83
	お子さんは、ご家庭で決めたテレビやゲームの約束を守っていますか。	58	58	61
1 5	自分から進んで体を動かしている。	84	83	87
	お子さんは、進んで体を動かしていますか。	77	73	74
1 6	休み時間や体育で、がんばってできるようになったことがある。			94
	お子さんは、難しい作業やできない技などに挑戦し、できるように努力していますか。			68



### <成果>

感染予防を意識した生活を送ることができました。家庭、児童、学校が一体となって取り組んだ結果だと思われます。手洗い・うがいやマスク着用を徹底する様子が見られました。

メディアへの関心・ルールについての数値が上がりました。昨年から意識して取り組みを続けたため、保護者の皆様が児童と過ごす時間が増えたことがメディアの約束を守るきっかけにもなったのではないかと考えます。

### <課題>

コロナの影響や臨時休業等によって規則正しい生活習慣に乱れが出たのではないかと考えます。出かけることができない環境だったため、テレビの再放送を視聴するなどしたことが、メディア接触時間が児童も保護者も増えた原因だと感じました。体を動かすことについては、児童は体育や休み時間に体を動かしたことで、肯定的に捉えましたが、コロナ禍で思いきり体を動かせない児童の様子を見ていた保護者の捉え方により、数値が低く出たのではないかと考えました。

難しい作業やできない技に挑戦した項目については、保護者と児童の間で大きな差が出ました。保護者の皆様にとって子どもが何をがんばっているのか、どんなことに挑戦しているのかということが分かりにくかったためと思われます。親子のコミュニケーションの機会を増やすために、学習参観や学年だより、Webでの動画配信を計画的に行い、児童の様子を保護者の方にたくさん見ていただき、話題となる材料を増やしたいと考えます。

アンケートの16番が保護者の方に伝わりにくかったようですので、項目の内容を検討します。

# 令和2年度前期 学校評価・保護者アンケート（自由記述）より

上越市立飯小学校

飯小学校の教育活動に高い関心とご理解をいただき、ありがとうございます。いただいたご意見については、課題を分かりやすくするために、ポイントのみを整理してお伝えします。なお、個別な対応や早急な対応が必要だった内容につきましては、担任（担当）に伝え対応をさせていただきました。

今後ともご理解とご協力をお願いします。

## 1 児童の様子

### (1) 学校生活全般

- 毎日楽しく登校している。ありがとうございます。(10)
- 毎日、わくわくドキドキの経験をさせてもらっている。
- 担任以外の先生からも褒められて嬉しかった話をしてくれる。子供の原動力になっていると感じる。
- 校外学習、社会科見学があった日は、楽しかったことを伝えてくれる。(2)
- 学校生活に慣れたところに休校になり、振り出しに戻った感じがしたが、今はまた慣れてきた。
- 2年生に進級して成長を感じる。
- 畑の観察や草取りを一生懸命にしている。(3)
- 漢字テストに意気込んでいる。
- 給食を食べられるように工夫と努力をしている。
- 学習参観の時に、進んで発表している姿に感心。
- 話の聞き方がよくなったと感じる。学習参観で、友達の発表を大切にしている姿や感想や意見を積極的に述べ合っている姿が素晴らしかった。先生方の指導、ありがとうございます。
- クラブ活動を楽しんでいる。(2)
- 学校でのできごとをたくさん話してくれたり相談してくれたりする。
- 陸上部に入り、休み時間も積極的にサッカーをするようになった。
- 充実した生活を送ることができ、先生方に感謝。
- 6年生になり、登校班の班長として1年生をサポートしながら登校している。6年生としての心構えを指導していただいた成果。
- 6年生になり、最高学年としての自覚をもって取り組んでいる。(2)

△宿題を忘れる。

△勉強についていけないか心配。(2)

△授業中の集中力や子供の覇気が低い。

**A** ご意見ありがとうございます。コロナ禍で新年度すぐに休校に入ってしまいましたが、子供たちは、進級の喜びを感じ、活動や学習に張り切って取り組んでおります。休校や分散登校が続いたため、学習進度が心配されましたが、行事を精選・重点化したり、職員の出張や会議の回数が減ったりしたため、授業時数をほぼ回復、確保することができました。学習の理解の様子を細かく見取りながら、一人一人の学習内容の定着を目指します。

### (2) 児童の人間関係

- 上級生に遊んでもらえることがうれしい。
- 学校生活や人間関係で悩んでいたが、カウンセラーの先生に話を聞いてもらったり実践したりする

ことで、コミュニケーションがうまくとれるようになり、人間関係が好転した。

○友人関係のトラブルで登校渋りがあったが、丁寧に対応してもらった。話を聞いてもらえることで安心して学校に行ける。

△話の仕方がきつuitと感ずることがある。引き続き指導をお願いしたい。

△クラスの子から悪い言葉を言われて落ち込んでいることがある。

△相手の気持ちを考えて言葉で伝える力が足りていない。暴力で感情を吐き出す子がいる。

**A** 職員間で情報交換をこまめに行い、児童の気になる言動や心配な行動に関しては、早めの把握を行っています。一人一人からの事実の詳細な聞き取りが必要な場合は、複数の職員で対応に当たったり、聞き取りに時間を費やしたりすることもあります。行動の背景を把握し児童の気持ちを理解することが重要と考えております。迅速かつ児童に寄り添った対応が行えるよう、今後も努めてまいります。また、その過程において保護者の皆様からお話を聞かせていただくなど、協力をいただく場合があるかと思ひます。今後も、保護者の皆様と共に児童の成長を支えていきたいと考えています。気になることや心配なことなどがありましたら、遠慮なくお知らせください。よろしくお祈ひします。

(3) 登下校、帰宅後の家での様子

○進んで手伝いをしてくれるので、助かる。

○これからも家でのコミュニケーションから心の変化を読み取っていきたい。

△帰宅せずに遊んでいる児童や集団で危険な自転車の乗り方をしている児童を頻繁に見かける。

△下校後の帰宅時間を時々指導してもらえるとよい。

△放課後の危険行動について、保護者に周知されていない。

△地域の方々への挨拶ができていない。

△あいさつがよくなるとよい。上学年が手本を示せるとよいのでは。

**A** 下校後の遊びや自転車の乗り方について多くの保護者の皆様から気にかけていただき、ありがたく思っております。帰宅時間等についても、今後も継続して指導していきます。危険な行動の事例を把握した際は、児童に指導しておりますが、内容によっては、保護者の皆様にもお伝えし、ご家庭での指導を重ねてお祈ひする場合があります。ご理解とご協力をお祈ひします。

学校内外に関わらず、あいさつの仕方については機会を捉えて指導しております。例年実施していた学年のあいさつ運動は、今年度はコロナ禍で実施できずにいます。2学期以降は、委員会活動を通して働きかけを行ったり、地域児童会で登校班の振り返りを行ったりするなど、あいさつの種まきを続けていきます。

(4) 職員の指導や対応について

○これからも行事を通して一人一人が輝ける環境を作っていただきたい。

○細やかな対応に感謝。(2)

○担任の先生の話を楽しそうにたくさんしてくれる。(3)

○担任のテストやノートへの励ましのコメントがうれしい。

○いつも子供のことを気遣っていただき、感謝。

△必要な持ち物や行事の変更が1枚の便りにまとめられていると把握しやすい。お便りが多く、変更も多いので忘れそうになる。

- △宿題を増やしてもらいたい。自主課題を出してもらえるとありがたい。
- △自主学習がよく分からない。具体的範囲を指定してもらえると助かる。
- △1組と2組で宿題の量に差がある。ドリル以外の宿題も出してほしい。
- △健康診断の際、女子児童が肌着をあげて診察されたことについてたくさんクレームがあった。男子児童からもクレームが出ている。心理的虐待ではないか。適切な対応をお願いしたい。
- △給食中に残したい時でも残せない。無理に完食を求めることについて一考を。
- △担任の先生によって、年度で対応が変わる。先生方の方向性の違いを感じ、不信に思うことがある。

**A** ご指摘ありがとうございました。今年度は、コロナ対応などに関して例年より多くの便りが出ています。行事の変更や追加がある場合は、分かりやすいように工夫してお伝えするようにします。

毎週、学年会を行い、学習進捗や内容の確認、調整を行っています。家庭学習につきましても、担任同士で情報交換をこまめに行い、学級間で大きな差が生じないように配慮しています。自主学習ノートを例示することで、自主学習の内容や方法を互いに紹介し合い、自分の取組につなげる児童がいます。今後も支援を続けます。

給食につきましては、好き嫌いをなく食べることを指導していますが、食べられる量や体調等を把握し、完食を強いることのないように、職員で共通認識を持ちました。

健康診断の際は、児童の気持ちを考慮し、抵抗なく検診を受けられるよう、校医とも連携をとります。ただし、医師に検診を受ける態度も重要です。恥ずかしいという心情を考慮しつつも、健康のために行うことであるという説明をしっかりとしていきたいと考えます。男子からのクレームについては、LGBTへの配慮をもって指導してまいります。

担任により、指導の内容の細かな部分で違いと受け止められる点があるかもしれません。職員で協議を重ねたり情報共有を行ったりすることを通して、指導の根幹の部分で差が生じないようにして取り組んでおります。今後も、指導内容につきましてご不明な点等がありましたら、お知らせください。

## 2 学校の取組について

### (1) 動画配信

- 動画配信に助けられた。感謝している。(5)
- WEBを活用した取組が時代に合っている。感服している。(2)
- 飯小学校の、新潟県に先駆けた教育活動の展開に期待。
- 動画配信は急がなくて大丈夫。先生方の多忙さが心配。

△WEBで答えるのに、用紙を持ち帰ってきた。用紙が無駄ではないか。WEBで答えられない家庭を把握して対応した方がよい。

△メディアとの接触時間を制限する一方で、学校からの動画配信等は積極的に見るよう勧められるので、その違いをうまく説明できない。

**A** ご意見ありがとうございます。WEBでお答えいただけないご家庭を把握しておりますので、後期アンケートでは該当するご家庭のみに用紙を配付させていただきます。

学校から配信する動画は、内容を吟味して短時間にまとめています。学年や内容を参考にして視聴していただけると有難いです。ご家庭で話し合ったメディアに関する約束を守れるよう、引き続き声がけをよろしく申し上げます。

### (2) コロナ対応、コロナに関して

- コロナ対策等、普段以上の配慮に感謝。

- 学校再開がうれしい。当たり前の毎日が有難い。
- 休校中のパソコンの貸し出しなど、動画が見られない家庭への配慮が有難かった。
- △ハンカチを1枚しか持っていないことが不安。感染症予防の面からも複数持たせたらどうか。
- △密が改善されていない。今後のイベントも、感染状況をみて早めに判断してもらいたい。
- △コロナ禍のため、子供が生き生きと通えていない。
- △マスクを外して話しかけてくる子がいる。マスクの着脱について、確認し共通認識にしてほしい。
- △分散登校時、登校班内で連絡を取り合うことが難しかった。
- △5分休みでは手洗いが十分に行えていないのではないかと、不安。食事前だけでも手指のアルコール消毒が行えればよい。
- △分散登校明けにテストが続いたことが疑問。

**A** 教室規模に対して児童数が多く、距離の近さを感じる学級もあります。適宜換気を行ったり、活動方法を工夫したりするなどして、3密の状況を回避できるよう尽力いたします。コロナ禍で、行事の持ち方が例年と大きく変わる場合があります。その際は、保護者の皆様に早めにお伝えいたします。

学校では、携行するマスクやハンカチの枚数を制限していません。マスクと同様に、予備のハンカチもランドセルに入れておくといざという時に安心かと思われれます。ご家庭で相談して持たせてください。マスクの着用の仕方については、暑さを避けたり水分を補給したりする時や体育学習時以外は、着用するよう指導しています。慣れてきて緊張感が薄れてきている状況もあるようですが、留意して指導していきます。

給食前に限らず、石鹸を使った30秒の手洗いを励行しています。継続して指導を行い、感染症予防を図れるようにしていきます。

テストは学習状況の到達度を評価するだけでなく、今後の指導に生かすための実態把握のテストもありますし、テストを通して学習内容を理解させていく場合もあります。休み明けテストにもそれぞれの意味があることをご理解ください。

登校班内での連絡方法については、今後検討させていただきます。

### 3 学校行事について

- 修学旅行や運動会を行ってもらえることに感謝。
- 最高学年ならではの活動や楽しみにしていた行事が行えず、残念がっているが、陸上部記録会や各教室に出向いての一年生を迎える会など、方法を模索してもらってありがたい。

△コロナで、行事が中止になり残念。

**A** 例年通りの内容や方法で行事を実施することが困難になっています。そのような状況でも、児童が満足感や達成感を得ることができるよう、職員で知恵を出し合い方法を工夫してまいります。

### 4 その他

- 以前よりアンケートの項目が答えやすくなった。
- ウィークエンド活動が、学年別ではなく年2回の実施になり、よい。
- 学校も家庭も従来の方法にとらわれず、状況に合わせて柔軟に新しい方法を取り入れてよいのでは。

△清掃が行き届いていない。トイレが汚い。掃除のやり方を教えてほしい。

**A** 清掃分担が新しくなる時は、担当職員が仕事内容や清掃方法を確認し、指導しています。職員も一緒に清掃を行っておりますので、場に応じて掃除の仕方を繰り返し指導していきます。